

豊島区が2019年「東アジア文化都市」 の国内候補都市に決定

2014年から日中韓の3か国において各国1都市づつを選定し開催されている東アジア文化都市において豊島区が、横浜市（2014年）、新潟市（2015年）、奈良市（2016年）、京都市（2017年）、金沢市（2018年）に続き、6番目の国内候補都市に決定しました。

※2018年に開催される日中韓文化大臣会合において、中国及び韓国から提案される都市とともに、正式に決定される予定です。

東アジア文化都市とは

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものである。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指す。

また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としている。

【これまでの東アジア文化都市 開催都市（候補都市含む）】

開催年	日本	中国	韓国
平成26年 (2014)	横浜市	泉州市	光州広域市
平成27年 (2015)	新潟市	青島市	清州市
平成28年 (2016)	奈良市	寧波市	濟州特別自治道
平成29年 (2017)	京都市	長沙市	大邱市
平成30年 (2018)	金沢市	未定	未定
平成31年 (2019)	豊島区	未定	未定



豊島区長コメント

東アジア文化都市を開催することは、『国際アート・カルチャー都市』を掲げる豊島区にとって、まさに悲願でありました。それゆえに、豊島区の文化政策の集大成と位置付け、2019年の開催都市に立候補しました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックを目前に控えた2019年、世界の耳目が東京に集中し、もっとも機運が高まっているこのタイミングに豊島区で開催することで、豊島区のみちの魅力を世界に向けて発信する絶好の機会と捉えております。

この事業は、これまで、日本を代表する錚々たる文化都市が担ってきました。この事業を豊島区が引き継ぎ、成功に導くために、東京都のお力添えをいただきながら、区民の皆さんと一体となって、今後準備を進めてまいります。

【1. 東アジア文化都市とは】

文化庁が行う文化交流の国家プロジェクト

【事業の概要と目的】

- 日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日中韓の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を毎年各国1都市ずつ選定し、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な**文化芸術イベント**や**文化交流事業**を実施するもの。
- これにより目指すものは、
 - ① 東アジア域内の**相互理解・連帯感の形成**を促進すること
 - ② 東アジアの多様な文化の**国際発信力の強化**を図ること
 - ③ 当該都市がその文化的特徴を生かした事業を実施することで**継続的に発展**すること



【2. これまでの開催都市】

【各都市の人口規模】

	日本	中国	韓国
2014年	横浜市 (373万人)	泉州 (センシュウ) 市 (836万人)	光州 (コウシュウ) 広域市 (178万人)
2015年	新潟市 (81万人)	青島 (チンタオ) 市 (910万人)	清州 (セイシュウ) 市 (67万人)
2016年	奈良市 (36万人)	寧波 (ネイハ) 市 (228万人)	済州 (チェジュ) 特別自治道 (40万人)
2017年	京都市 (147万人)	長沙 (チョウサ) 市 (715万人)	大邱 (テグ) 市 (245万人)
2018年	金沢市 (47万人)	未定	未定
2019年	豊島区 (28万人)	未定	未定



【3. 東アジア文化都市開催の目的】

オリンピック・パラリンピック東京大会に向け機運の高まりを見せるなか、相乗効果にて日本・東京の文化を世界に向けて発信する。



大田楽いけぶくろ絵巻



57の交流都市との連携

オリパラ文化プログラムと東アジア文化都市
2つの国家的文化事業で日本、東京の文化を世界に向けてアピール

連携しながら、
東京の文化プログラムをアピール



東京芸術祭の充実

東京芸術祭
2016 TOKYO METROPOLITAN FESTIVAL

東アジア
文化都市

東アジア文化都市
レガシー事業

構築したネットワークを活かし、
文化・観光・経済の発展を継続

東京都の全面的な
バックアップを受けて、
2020年東京オリ・パラ
に向けて機運を高める

東京都と一体となって
文化プログラムを展開

リオオリンピック
・パラリンピック

東京オリンピック
パラリンピック

文化プログラム
レガシー

豊島区が東京の文化
発信のハブに！



フラッグツアー

2016年

2019年

2020年

【4.東アジア文化都市の事業の柱】

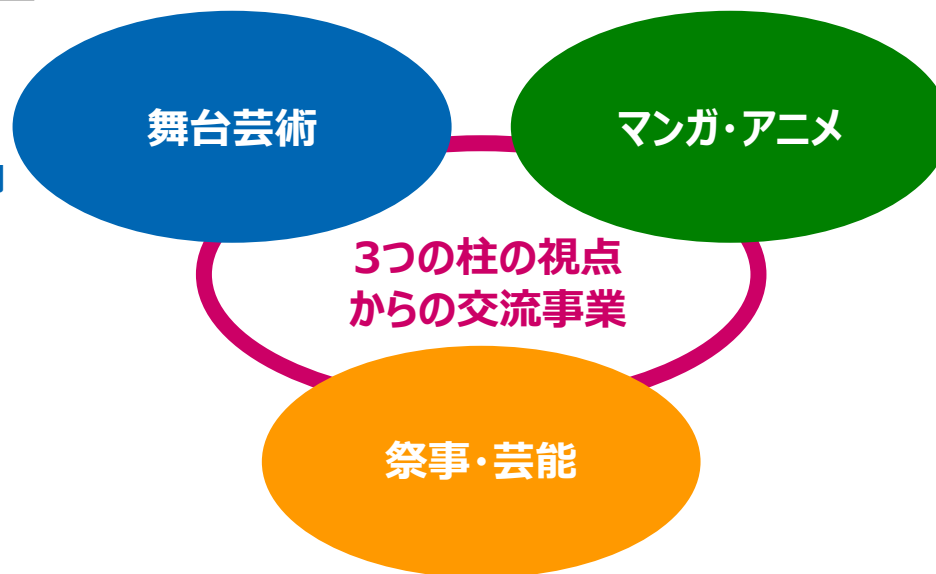
特に豊島区で盛んな「舞台芸術」、「マンガ・アニメ」、「祭事・芸能」を事業の3つの柱とする。

- 「舞台芸術」、「マンガ・アニメ」では2020年以降も毎年の継続を前提とした新規事業を立ち上げ。
- 既存事業に関しても日中韓交流の視点により強化。

毎年実施を前提とした新規事業

+

- ・フェスティバル トーキョー
- ・東京芸術祭
- ・アジア舞台芸術人材育成部門
- ・池袋演劇祭
- ・としまアート夏まつり



毎年実施を前提とした新規事業

+

- ・東京アニメアワードフェスティバル
- ・池袋オータムカルチャーフェスティバル
- ・南長崎マンガランド事業
- ・豊島区トキワ荘通りお休み処
- ・としま南長崎トキワ荘協働プロジェクト
- ・紫雲荘・活用プロジェクト
- ・夢の虹プロジェクト
- ・マンガ・アニメネットワーク

- ・にゅ〜盆踊り
- ・民俗芸能inとしま
- ・東京フラフェスタin池袋
- ・すがも中山道菊まつり

- ・大田楽・いけぶくろ絵巻
- ・ふくろ祭り・東京よさこい
- ・大塚バラまつり
- ・池袋バレンタインファンタジー

- ・としま能の会
- ・東京大塚阿波おどり
- ・さくらまつり・さくらサミット
- ・御会式（おえしき）